

第156期 報告書

2016年4月1日～2017年3月31日



OAK
CAPITAL

Oak キャピタル株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また平素より温かいご支援と格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期における国内株式市場は、年初から米国の利上げと為替の影響から乱高下の相場となり、英国のEU離脱決定により最安値をつけましたが、トランプ政権発足以降、経済対策への期待感から上向いてまいりました。

引き続き地政学リスクはあるものの、国内経済は緩やかながら成長軌道を堅持し、上場企業の利益成長率および株主資本利益率(ROE)はさらに改善してくるものと思われまます。

しかしながら、当社の支援先となる時価総額150億円以下の新興市場ならびに中小型上場市場は依然厳しい資金調達環境であり、当社の財務支援ならびに成長支援は重要な役割を担っております。当社は、企業価値向上に向けた様々な支援を通じ、社会的責任を果たしてまいります。

また、成長し続ける投資銀行を目指し、収益構造のイノベーションを進め、安定した収益を生む事業投資分野を強化してまいります。事業拡大の取り組みにより、成長力・収益力・安定力を強固にし「企業価値」と「株主価値」をさらに高めてまいります。

今後とも皆様方の一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

2017年6月

代表取締役会長 兼 CEO 竹井博康

業績サマリー

当期(2016年4月1日から2017年3月31日まで)の個別業績は、営業収益(売上高)89億58百万円、営業利益9億61百万円、経常利益9億37百万円、当期純利益10億7百万円となり、連結業績は、売上高89億58百万円、営業利益9億55百万円、経常利益8億15百万円、親会社株主に帰属する当期純利益8億85百万円となり、前期と比較して増収増益となりました。当社の投資銀行業務は、新興および中小型上場企業の財務支援を通して、成長戦略および事業再生や成長戦略に必要なM&A、ならびに事業提携などの事業戦略の支援・助言を行っております。これらの活動の結果、キャピタルゲインは18億73百万円となり、投資収益率は27.2%となりました。

成長戦略

当社は、将来の金融市場の潮流を捉え、変動する外部環境であっても成長し続ける投資銀行を目指し、経営戦略である投資領域の拡大を目的に、事業会社の買収、海外投資の拡大、国内外のブランド企業への投資など投資事業構造のイノベーションを推進してまいります。

株主還元

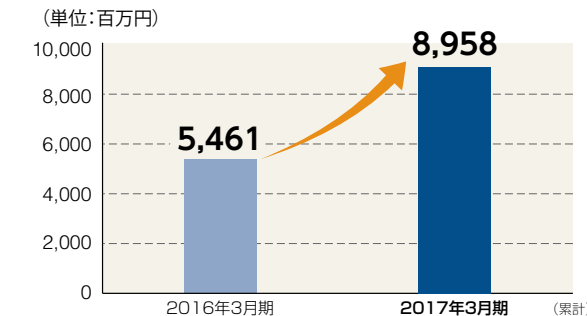
さらなる業績拡大を図り、企業価値ならびに株主価値向上に努めてまいります。なお、継続的、且つ、配当性向30%を目指し、株主優待を含め株主還元の実践に取り組んでまいります。

IR活動

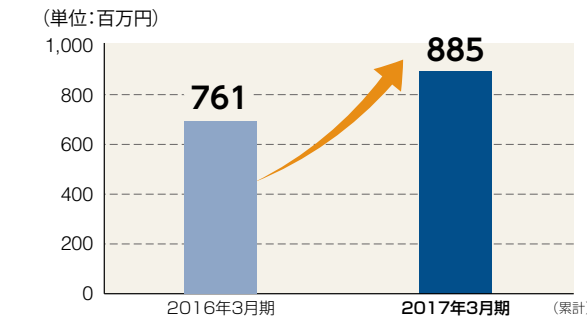
当社事業や投資に対する興味や関心を持っていただくため、機関投資家向けの活動に加え、東京証券取引所主催のIRイベントへの参加出展や、大手メディアとの共催IRイベントなどを通じ、個人投資家との対話の機会創出を図ってまいります。

※P5「Topics② IRフォーラム」をご覧ください。

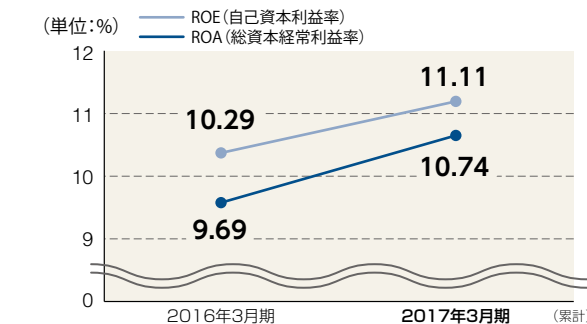
■ 連結売上高



■ 連結純利益



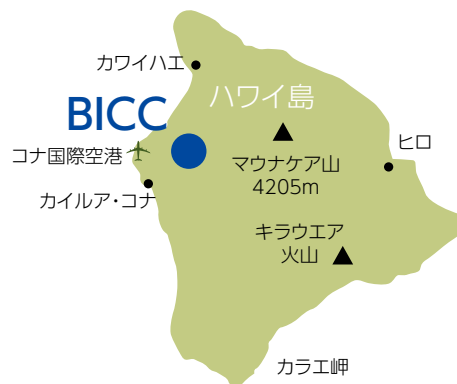
■ ROE・ROA



注)前事業年度につきましては、参考情報として個別財務諸表に基づく数値を記載しております。



Big Island Country Club



■ビッグアイランドカントリークラブ
 所在地: 71-1420 Mamalahoa Hwy., Kailua Kona
 営業時間: 7:00~17:00 (定休日なし)
 TEL: (808)325-5044
 詳細情報は www.bigislandcountryclub.com でご確認ください。

ハワイ島は、ハワイ諸島で最大の島であることから“Big Island”の愛称と呼ばれ、ハワイ王朝を統一したカメハメハ大王の出身地でもあります。ビッグアイランドカントリークラブはハワイ島西海岸のカイルア・コナに位置し、標高610メートルの高台にあり、降雨が少なく年間300日が晴天のドライな天候で、景観とさわやかな風と涼しさを感じながらプレーできる、絶好のロケーションにあります。コース設計はピート・ダイでコースは平坦でありながら戦略的に設計され、ハワイでは数少ないオールベントグリーン18Hです。東京ドーム35個分、49万坪のゴルフ場敷地内には国際保護鳥で生息数は1,000羽と言われるハワイ州の州鳥であるネネが生息し、3月~5月には別名「ハワイ桜」としても知られる「ジャカラング」が咲き乱れるなど、木々に囲まれた自然豊かなコースです。

Christofle

PARIS



■青山本店
 所在地: 〒107-0061
 東京都港区北青山3-6-20 青山T&E
 営業時間: 11:00~19:30 (年末年始を除き営業)
 TEL: 03-3499-5031

1830年創業。フランスのシルバーウェアの老舗であるクリストフルは、フランス王ルイ・フィリップから注文を受けることにより王室御用達の認定を受けました。以来、ナポレオン3世からチュイルリー宮殿で催される晩餐会用のテーブルウェアの注文を受けるなど、歴史上の著名な人物からの評判により、シルバーウェアの代名詞として世界的に知られるようになりました。創業以来「創意・伝統・品質」を理念とし、創業者シャルル・クリストフルのモットーである“唯一の品質、それは最高の品質”を忠実に守り続け、常に高品質の製品作りを心がけています。クリストフルではカトラリーやテーブルウェアに始まり、ホームウェア、ギフトのほかジュエリーを取り揃えるなど、ライフスタイルに輝きを添える最高級のシルバーウェアを展開しています。

東洋経済新報社主催 Oakキャピタル特別協賛IRフォーラムを開催

2017年4月13日(木) JPタワーホール&カンファレンス

東洋経済新報社主催Oakキャピタル特別協賛のIRフォーラムは、500人を超える来場者があり盛況の内に終了しました。
 (株)タニタ前社長の谷田大輔氏や(財)日本総合研究所会長の寺島実郎氏の特別講演に加え、展示会場では当社投資先を含む10社のブースが設営され、ご来場者と各企業IR担当者との良いコミュニケーションの場となりました。

東洋経済主催 IRフォーラム2017
変革期における企業の成長戦略への挑戦
 CHALLENGE FOR GROWTH STRATEGY
 TOKYO 4/13 [THU]

新たなイノベーションと価値向上に挑む、これからの事業成長の在りかた

「IoT」「ビッグデータ」とデジタルテクノロジーの進化が高度な生産性を推し、産業の価値を拡大させるサービス、ビジネスモデルの改変と創出されています。また併走注目されているインバウンドビジネスにおいても、今後の更なる需要の伸びが期待されており、大きなビジネスチャンスといえます。このような変革期において、これからの日本企業が不可欠な成長戦略として、新たなイノベーションを創出し、更なる事業成長や取組を切望している企業や関係者をゲストに迎え、持続的な成長や再生を遂げるために必要なマネジメントのあり方について考える場となります。

特別講演
企業の再生と成長
 ～赤字企業を世界NO.1に!
 株式会社タニタ 前代表取締役社長、経営コンサルタント
谷田 大輔氏

これからの日本経済
 ～世界の構造転換と日本の進路～
 一般財団法人日本総合研究所 会長
寺島 実郎氏

パネルディスカッション
「これからの時代のクロスボーダー戦略を考える」
 (モデレーター) 叶内 文子氏
インダストリー 4.0 (第4次産業革命)
ジャパンプランド (インバウンド・カルチャー)
 出演パネラー インタビュー&トーク
 レポーター
アンソニー・ホビー・オロゴン氏

開催概要
 2017年4月13日(木)
 日 時 セミナー ▶13:00~17:20(受付12:30)
 展示エリア ▶12:30~17:30(受付12:30)
 会 場 JPタワーホール&カンファレンス
 参加規模 700名(セミナー 定員500名)
 参加対象 個人投資家および機関投資家、企業の経営者、取締役等または財務、M&A、事業開発担当者などの担当部門長やご担当者の方
 参加料 無料(セミナーの参加は事前登録制)
 ※展示エリアのみのご参加は事前登録は不要です。
 主催 東洋経済新報社
 特別協賛 Oakキャピタル株式会社
 お問い合わせ 東洋経済新報社 フォーラム事務局
 03-3246-5599 (土日祝を除く 10:00~18:00)

出展企業
 PIXELA CORPORATION, hoto link, Wintest Corp., Aeria, PATH Corporation, SOURCENEXT, RECOMM, SOFTFRONT, 日本創薬グループ

(お申し込み方法) 右記のURLよりお申し込みください。 <http://toyokeizai.net/sp/ir2017/>



パネルディスカッション



特別講演



展示会場

上場企業経営者向けエグゼクティブセミナー

上場企業への成長支援の一環として上場企業役員限定のエグゼクティブセミナーを開催しています。その時々で旬なテーマを取り上げ、毎回30名程の方々にご参加いただき、講師による講演のほか、セミナー後半ではオープンディスカッション形式によるQ&Aを行うなど、双方向の充実したセミナーを開催しています。

セミナー実績

- 第1回 2013年 2月 「これからの時代のクロスボーダー戦略を考える」
- 第2回 2013年 7月 「これからの時代のグローバル戦略とは」
- 第3回 2013年12月 「成長戦略としてのM&A」
- 第4回 2014年 3月 「M&Aを成功に導く為の企業戦略」
- 第5回 2014年 7月 「成長戦略」
- 第6回 2014年11月 「持続的な成長をもたらすイノベーションと事業創造」
- 第7回 2015年 7月 「経営戦略とトップマネジメントの役割とは」
- 第8回 2016年 5月 「経営変革と成長を続ける強い組織のマネジメント」
- 第9回 2017年 3月 「時代をどう変えるか、世の中の不を解消して高成長へ挑む」

上場企業経営者向けの成長戦略セミナー
「時代をどう変えるか、世の中の不を解消して高成長へ挑む」
 2017年3月15日(水曜日) 13:00(受付) 13:30~16:30
 ■参加無料■
 ※上場企業の取締役・執行役員以上の方に限定させていただきます。

経営環境の変化に柔軟に対応しながら戦略を推進し、成果を出し続けるには、強い組織や人材育成は不可欠といえます。成長企業は、個々のリーダーシップを発揮することにより、経営課題を解決し、目標を達成することが求められます。
 今回のセミナーは、ファンケルの池森会長をお招きして、不経理事業からの撤退後、迅速な組織再編や改革を行い、企業内大学設立などの数々の経験談や、金の糸継がらみでついでに無断知化社長のアップメーカーを巻きあげられた「池森経営」の真実について伺います。強い組織と次世代を担う人材をつくるために必要なトップマネジメントの役割およびエンゲージメントについて、留意点やポイントを解説していきます。

特別講演 **経営者の役割が挑戦と人づくり(仮題)**
 (講師) 株式会社ファンケル 代表取締役 会長執行役員 **池森 賢二** 氏
 プロフィール:
 1957年、三重県生まれ。1979年、中田製菓株式会社に入社。1979年に退職。1980年に新加坡加東証券株式会社入社。翌年に株式会社ファンケルを設立し、代表取締役社長に就任。独自の市場を開拓し、設立から10年間で無断知のファンケルとVブランドを確立。1998年に株式会社を全面公開し、翌年に東証一部上場。2000年に有価証券法改正、経営の第一歩から退く。その後、同社の経営を主導するため、2016年9月に代表取締役会長執行役員に就任。不経理事業の撤退や組織再編、社員のモチベーション向上、エンゲージメント推進を進め、現在は一般社団法人日本創薬研究会会長も兼ねる。

主催者講演
「成長戦略を支える投資銀行の役割」
 Oakキャピタル株式会社 常務執行役員 投資銀行部 未斉 輝行
「経営者としての役割」
 株式会社プロネクサス IR事業部理事 福川 修一

Oakキャピタル株式会社 セミナー実績
 第1回 2013年 2月 「これからの時代のクロスボーダー戦略を考える」
 第2回 2013年 7月 「これからの時代のグローバル戦略とは」
 第3回 2013年12月 「成長戦略としてのM&A」
 第4回 2014年 3月 「M&Aを成功に導く為の企業戦略」
 第5回 2014年 7月 「成長戦略」
 第6回 2014年11月 「持続的な成長をもたらすイノベーションと事業創造」
 第7回 2015年 7月 「経営戦略とトップマネジメントの役割とは」
 第8回 2016年 5月 「経営変革と成長を続ける強い組織のマネジメント」
 第9回 2017年 3月 「時代をどう変えるか、世の中の不を解消して高成長へ挑む」

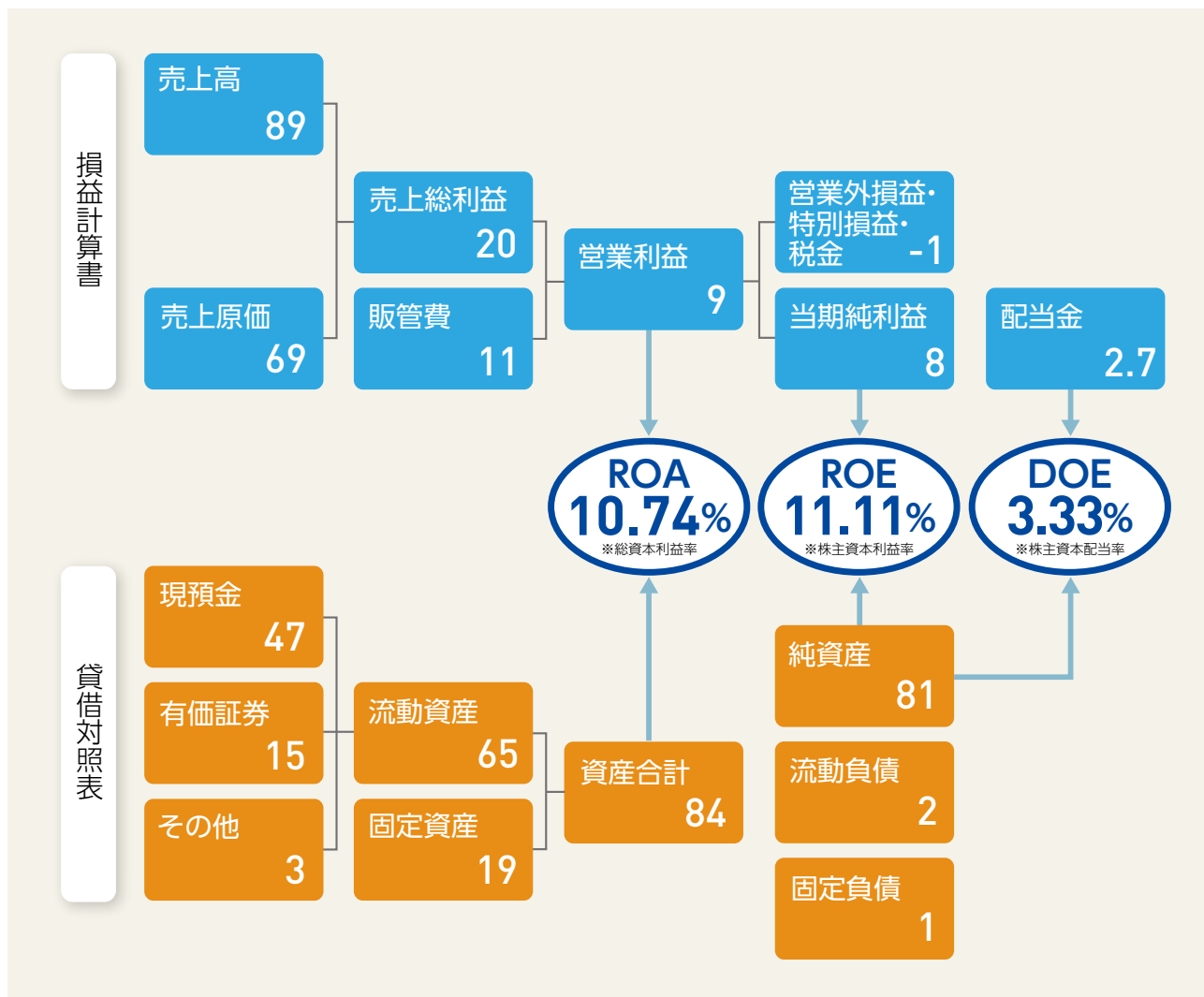
株式会社プロネクサス
 〒104-8587 東京都中央区新富1丁目 東武ビル 700号
 ☎03-5561-1111
 株式会社Oakキャピタル
 〒104-8587 東京都中央区新富1丁目 東武ビル 700号
 ☎03-5561-1111
 株式会社ファンケル
 〒104-8587 東京都中央区新富1丁目 東武ビル 700号
 ☎03-5561-1111



セミナー会場

第9回は株式会社プロネクサスとの共催により開催しました。
 ゲスト講演者として株式会社ファンケルの池森会長をお招きし、「経営者の役割は挑戦と人づくり」をテーマとしたお話を頂戴しました。
 参加された皆様からは、今後の参考になる貴重なお話が聴けたなどの感想が多く寄せられたほか、参加者様同士の交流が図られるなど、とても良い時間を共有する事が出来ました。

PLとBSの相関図 (単位:億円)



連結財務諸表(要旨)

■ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期末 (2017年3月31日)
資産の部	
流動資産	6,477
固定資産	1,876
有形固定資産	105
無形固定資産	3
投資その他の資産	1,768
繰延資産	8
資産合計	8,362
負債の部	
流動負債	204
固定負債	93
負債合計	297
純資産の部	
株主資本	8,741
その他の包括利益累計額	△676
純資産合計	8,065
負債純資産合計	8,362

※第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前連結会計年度末との比較は行っていません。

Point

売上総利益＝

当期は出資先企業に対して、事業再生及びイノベーションを目的とした成長戦略の立案、M&Aの助言、IR支援など様々な支援業務に取り組み、価値向上の後押しを実施して一定の成果をあげることができ、業績は増収増益となりました。しかしながら、株式市場の変動等の要因もあり運用利回りは前期と比較して下回り、キャピタルゲインは18億73百万円、投資収益率は27.2%となりました。

■ 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期 (2016年4月1日～ 2017年3月31日)
売上高	8,958
売上総利益	2,031
販売費及び一般管理費	1,076
営業利益	955
経常利益	815
特別損益(△は損失)	137
税金等調整前当期純利益	953
法人税等合計	67
親会社株主に帰属する当期純利益	885

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当期 (2016年4月1日～ 2017年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,372
投資活動によるキャッシュ・フロー	△98
財務活動によるキャッシュ・フロー	△265
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,007
現金及び現金同等物の期首残高	1,737
現金及び現金同等物の当期末残高	4,745

Point

営業活動によるキャッシュ・フロー＝

営業活動によるキャッシュ・フローは、33億72百万円のキャッシュ・インフローとなりました。その主な要因は、税金等調整前当期純利益の計上及び投資回収の進展によるものであります。

■ 会社概要

商号	Oakキャピタル株式会社
創業	1868年
設立	1918年
資本金	42億82百万円
市場	東証第2部 3113(上場 1949年)
主幹事証券	大和証券
会計監査人	監査法人 日本橋事務所
取引銀行	三井住友銀行、みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行

■ 役員

代表取締役 会長 兼 CEO	竹井 博康	
取締役	秋田 勉	管理本部長 兼 経理財務部長
取締役	榎野 冬樹	投資銀行部長
取締役*1	尾関 友保	元アクセンチュア(株) パートナー
取締役*1	宇田 好文	元(株)NTT ドコモ代表取締役副社長
常務執行役員	木戸 康行	投資銀行部
執行役員	磯村 康典	事業投資部
執行役員	小玉 誠一	IR・PR室長
常勤監査役	高橋 英也	
監査役*2	坂井 眞	弁護士
監査役*2	廣瀬 元亮	
監査役*2	上野 園美	弁護士・公認会計士

※ 1. 会社法第2条第15号に定める社外取締役です。
 ※ 2. 会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

発行可能株式総数	150,000,000 株
発行済株式の総数	53,675,037 株
株主総数	22,879 名

大株主 上位 10名

株主名	所有株式数	持株比率
個人株主	2,217千株	4.13%
エルエムアイ株式会社	1,014	1.89
竹井博康	895	1.67
協和青果株式会社	760	1.42
楽天証券株式会社	602	1.12
三菱UFJモルガン・スタンレー証券	587	1.09
個人株主	560	1.04
日本証券金融株式会社	553	1.03
個人株主	360	0.67
個人株主	353	0.66

注)持株比率は、自己株式(33,997株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当金受領株主確定日	3月31日及び中間配当金の支払いを行うときは9月30日
株主名簿管理人	〒100-6026 東京都千代田区霞が関三丁目2番5号 株式会社アイ・アール ジャパン 電話0120-975-960(通話料無料)

● 住所変更、単元未満株式買取・買増等のお申し出先について
 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
 なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

● 株主様のご住所・お名前に使用する文字に関してのご案内
 株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

対象となる株主様

1単元(100株)以上保有の株主様

フランスの名門シルバーウェア
 最高級ブランド「クリストフル」商品の株主優待券



30%オフパスポート(期間内なら何度でもご利用可能)
 ※2017年12月末迄



※写真はイメージです。

ハワイ島カントリークラブ
 「ビッグアイランドカントリークラブ」プレー株主優待券



プレーフィ無料券10枚(1枚で4名様まで)
 ※2018年6月末迄



※写真はイメージです。

対象となる株主様

10単元(1,000株)以上保有の株主様

ご優待内容につきましては、下記区分に記載された相当額の東急百貨店オリジナルカタログギフト、または東急百貨店プロデュースの商品といたします。



(※)1,000円および2,000円相当のご優待につきましては、東急百貨店がプロデュースした限定商品『ドゥ マゴバリ』の焼き菓子といたします。



保有株式数別優待	保有期間			
	2年未満	2年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上
1,000株 ~ 1,999株	(※)1,000円相当	(※)2,000円相当	3,000円相当	5,000円相当
2,000株 ~ 2,999株	(※)2,000円相当	3,000円相当	5,000円相当	7,000円相当
3,000株 ~ 4,999株	3,000円相当	5,000円相当	7,000円相当	10,000円相当
5,000株 ~ 9,999株	4,000円相当	7,000円相当	10,000円相当	15,000円相当
10,000株 ~ 49,999株	7,000円相当	10,000円相当	15,000円相当	25,000円相当
50,000株 ~ 99,999株	10,000円相当	15,000円相当	25,000円相当	50,000円相当
100,000株以上	20,000円相当	25,000円相当	50,000円相当	100,000円相当

対象となる株主様

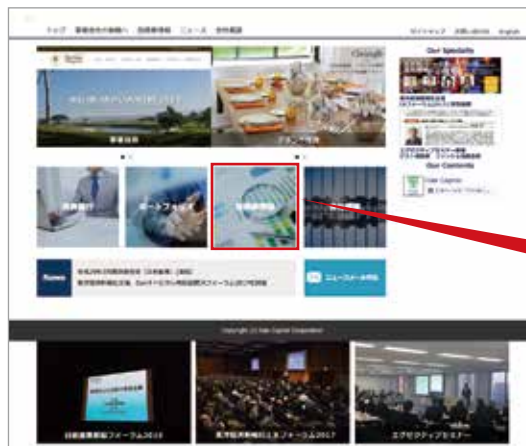
2017年3月31日付の当社株主名簿に記載された、日本国内在住の株主様を対象といたします。また、保有期間につきましてはその期間内、同一株主番号で株主名簿に記載された株主様を対象といたします。

実施時期

2017年6月下旬にお送りする予定です。

IRサイト紹介

URL: <http://www.oakcapital.jp/ir/> または で検索してください。



● 投資家情報



Oak キャピタル株式会社 証券コード：3113

<http://www.oakcapital.jp/>

〒107-0052 東京都港区赤坂八丁目10番24号 住友不動産青山ビル南館6F

本 社 TEL.03-5412-7474 FAX.03-5412-8282

事業本部 TEL.03-5412-7700 FAX.03-5412-8811



Facebook

<https://www.facebook.com/oakcapital.jp>